

〔Chem. Pharm. Bull., 28, 2647 (1980)〕

**Polysaccharides in Fungi. V.\*****Isolation and Characterization of a Mannan from Aqueous Ethanol Extract of *Dictyophora indusiata* FISCH.**

SHIGEO UKAI, CHIHIRO HARA, TADASHI KIHU, KAZUO HIROSE (the late)

## 菌類中の多糖類 (第V報)\*

キノガサタケ (*Dictyophora indusiata* FISCH.) の水性エタノール抽出物中の mannan の単離とその特性

鵜飼茂夫, 原 千尋, 木方正, (故)広瀬一雄

中国において食用あるいは薬用として用いられているキノガサタケ (*Dictyophora indusiata* FISCH., 中国名: 竹蓐) 子実体の70%水性エタノール抽出物中から, 中性ホモグリカンとして新しいタイプの  $\alpha$ -D-mannan を単離した (Chart 1)。

この多糖体はゲル濾過法 (Sephacrose 2B), および Tiselius-type の電気泳動法において均一性を示した。構成糖としては, D-mannose と微量の glucose (モル比, 100:1) が含まれており, また2モルの糖残基当たり約1モルの O-acetyl 基を有していることが明らかとなった。この多糖体の glycoside 結合は, 比旋光度が正の高い値 ( $[\alpha]_D^{18} + 116^\circ$ , in H<sub>2</sub>O) を示したことで, およびその IR 分析において  $820\text{cm}^{-1}$  に type 2a の吸収を示したことから,  $\alpha$ -D 配向していることが示唆された。

種々の化学的な分析の結果から, この多糖体は  $\alpha$ -1 $\rightarrow$ 3 結合した mannopyranosyl 残基から成るほぼ直鎖状の化学構造を有していることが判明した。しかし 1 $\rightarrow$ 3 結合以外にも 1 $\rightarrow$ 6 結合した mannopyranosyl (あるいは glucopyranosyl) 残基や, 1 $\rightarrow$ 3 結合した mannopyranosyl 残基の2位および4位での分岐点と共に微量認められた。

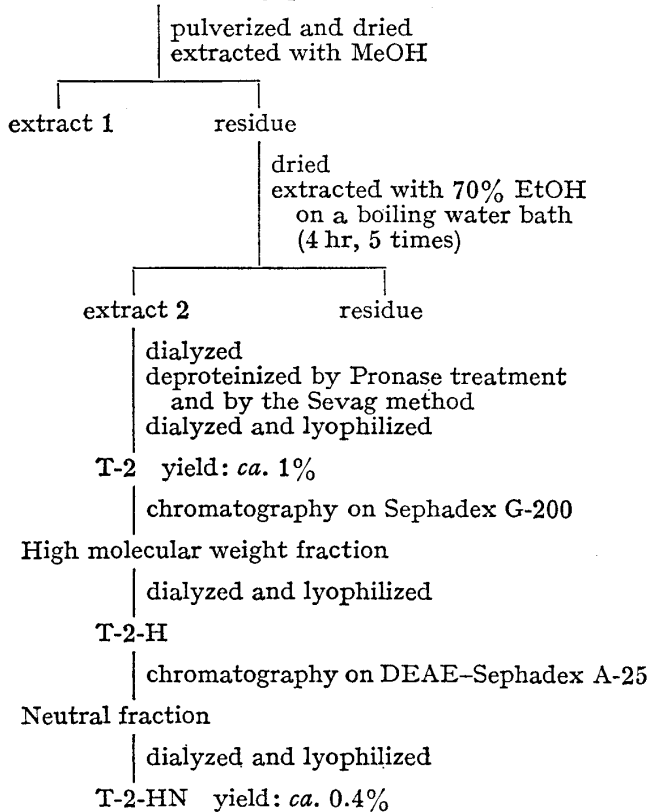
the fruit bodies of *Dictyophora indusiata* FISCH.

Chart 1. Isolation and Purification of the Polysaccharide

\* 第IV報: Chem. Pharm. Bull., 26, 3871 (1978).